



成果指標				
成果指標	子ども・子育て会議及び専門部会の開催状況			
指標設定の考え方	計画の策定に当たり、幼稚園・保育所・小規模保育等や地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、提供体制の確保の内容、実施時期についての意見を聞くこと及び子育て支援施策の調査審議をする必要があるため、会議開催の回数を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	5	5	2	2
実績	2	3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成27年4月1日からの子ども・子育て支援新制度の施行に向けて、伊予市子ども・子育て支援事業計画を策定した。計画策定に当たっては、子ども・子育て会議の委員から多くの提言、意見をいただいた。今後は計画の進捗状況を検証していく必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	伊予市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況を確認しながら、施策に計画的・効率的に取り組んで参ります。この事業を円滑に実施するためには、子育て家庭のみでなく多くの住民にそれぞれが果たす役割を認識してもらえるよう、計画の周知に取り組み互いに連携・協力しながら進めていきたいと思ひます。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	本市の子育て環境の整備を図りながら次世代育成支援を展開していくための「伊予市子ども・子育て支援事業計画」が策定できた。今後、この計画に基づく施策に取り組み、安心して子育てできるやさしいまちの実現を目指す。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ、さらに重点化すること。